

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市等名	新潟県	学校名	新潟県立新潟江南高等学校		
人権課題	子供	対象学年・ 取り扱った教科等	全学年・特別活動・ 総合的な探究の時間	時数等	10
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・子供（生徒）の間で発生している、インターネットやSNS等での誹謗中傷等による「いじめ」問題について考察する。 ・特に、他人に対する思いやりやいたわりなど、他者理解を起点とした人権教育により、豊かな人権感覚を身に付け、「いじめ」のない人間関係を育む取組を実践する。 				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県SNS教育プログラムを実施した。 ・いじめアンケートをはじめとする「いじめ」を早期発見するためのアンケートを実施した。 ・国や県からのいじめ防止に関する指導やメッセージ等をICT機器を活用して保護者に配信した。また、1年生入学時にSNS等の取扱いといじめについて保護者の理解を深めるため、周知啓発を行った。 				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県SNS教育プログラムの活用を通じて、SNS等の適切な使用方法を学ぶとともに、インターネットやSNS等による誹謗中傷等の未然防止に努めた。 ・年間を通して人権教育、同和教育の学習により人権感覚を養うために、公民科で基本的人権を、情報科で情報モラルについて学習するなど教科横断的に課題に取り組んだ。 				

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科と
の
関連

- ・ 公民科で、基本的人権について学習した。
- ・ 家庭科で、子供の人権について学習した。
- ・ 情報科で、情報モラルについて学習した。

事業成果

【知識的側面】

SNS教育プログラム等により知識を深めることができたため、意識変容調査では93%以上の生徒が人権についての意識が高まったと回答した。

【価値・態度的側面】

意識変容調査の結果、ほぼ全ての生徒が「人権を尊重しようと思う」、「他人の考えや立場を尊重しようと思う」と回答しており、自己自身の行為に責任を負う意思や態度が見られるようになった。

【技能的側面】

意識変容調査の結果、ほぼ全ての生徒が「友達の気持ちを大切にしようと思う」と回答している。また、約95%の生徒が「友達が困っているとき自分が助けることがある」と回答しており、問題解決に向けての技能的側面が高まったと考えられる。

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市等名	新潟県	学校名	新潟県立新潟江南高等学校		
人権課題	女性	対象学年・ 取り扱った教科等	1、2学年・総合的 な探究の時間	時数等	6
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・女性差別について、重要な人権課題であることを生徒が認識できるようにする。 ・男女共同参画社会の実現に向けて、女性の人権問題について理解を深め、問題解決に向けて主体的に行動しようとする姿勢を育成する。 				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間内で、女性の人権問題をテーマとして作成したレポートの発表を通じ、その問題解決策をグループ内で検討・共有することにより人権課題についての学びを深めた。 ・デートDVに関するリーフレットを活用して、互いの人権を尊重するように指導した。 				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート作成にあたり、取り上げたテーマについて多くの情報を集め、その内容を整理・分析してまとめるように指導した。 ・家族や友人を含め身近に存在する人権問題であり、問題を自分事として捉え、他者と協働して問題解決に向けて行動しようとする意志の涵養を図った。 				

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科と
の
関連

- ・ 公民科で、基本的人権について学習した。
- ・ 家庭科で、自分らしい生き方と家族について学習した。

事業成果

【知識的側面】

女性差別について理解を深めることができたため、ほぼ全ての生徒が「他人の考えや立場を尊重しようと思う」と意識変容調査で回答した。

【価値・態度的側面】

意識変容調査の結果、ほぼ全ての生徒が「人権を尊重しようと思う」と回答しており、自己自身の行為に責任を負う意思や態度が見られるようになった。

【技能的側面】

意識変容調査では93%以上の生徒が「人権についての意識が高まった」と回答しており、問題解決に向けての技能も高まったと考えられる。

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市等名	新潟県	学校名	新潟県立新潟江南高等学校		
人権課題	高齢者	対象学年・ 取り扱った教科等	1、2学年・総合的 な探究の時間	時数等	6
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者差別について、重要な人権課題であることを生徒が認識できるようにする。 ・高齢者の人権問題について理解を深め、問題解決に向けて行動しようとする姿勢を育成する。 				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間内で、高齢者の人権問題をテーマとして作成したレポートの発表を通じ、その問題解決策をグループ内で検討・共有することにより人権課題についての学びを深めた。 				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート作成にあたり、取り上げたテーマについて多くの情報を集め、その内容を整理・分析してまとめるように指導した。 ・身近に存在する人権問題であり、問題を自分事として捉え、他者と協働して問題解決に向けて行動しようとする意志の涵養を図った。 				

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科と
の
関連

- ・ 公民科で、基本的人権について学習した。
- ・ 家庭科で、高齢者や高齢社会について学習した。

事業成果

【知識的側面】

高齢者差別について理解を深めることができたため、ほぼ全ての生徒が「他人の考えや立場を尊重しようと思う」と意識変容調査で回答した。

【価値・態度的側面】

意識変容調査の結果、ほぼ全ての生徒が「人権を尊重しようと思う」と回答しており、自己自身の行為に責任を負う意思や態度が見られるようになった。

【技能的側面】

意識変容調査では93%以上の生徒が人権についての意識が高まったと回答しており、問題解決に向けての技能も高まったと考えられる。

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市等名	新潟県	学校名	新潟県立新潟江南高等学校		
人権課題	障害者	対象学年・ 取り扱った教科等	1、2学年・総合的 な探究の時間	時数等	6
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者差別について、重要な人権課題であることを生徒が認識できるようにする。 ・ 障害者の人権問題について理解を深め、問題解決に向けて行動しようとする姿勢を育成する。 				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な探究の時間内で、障害者の人権問題をテーマとして作成したレポートの発表を通じ、その問題解決策をグループ内で検討・共有することにより人権課題についての学びを深めた。 				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ レポート作成にあたり、取り上げたテーマについて多くの情報を集め、その内容を整理・分析してまとめるように指導した。 ・ 身近に存在する人権問題であり、問題を自分事として捉え、他者と協働して問題解決に向けて行動しようとする意志の涵養を図った。 				

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科と
の
関連

- ・ 公民科で、基本的人権について学習した。
- ・ 家庭科で、共生社会について学習した。

事業成果

【知識的側面】

障害者差別について理解を深めることができたため、ほぼ全ての生徒が「他人の考えや立場を尊重しようと思う」と意識変容調査で回答した。

【価値・態度的側面】

意識変容調査の結果、ほぼ全ての生徒が「人権を尊重しようと思う」と回答しており、自己自身の行為に責任を負う意思や態度が見られるようになった。

【技能的側面】

意識変容調査では93%以上の生徒が人権についての意識が高まったと回答しており、問題解決に向けての技能も高まったと考えられる。

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市等名	新潟県	学校名	新潟県立新潟江南高等学校		
人権課題	同和問題	対象学年・ 取り扱った教科等	全学年・総合的な探 究の時間・特別活動	時数等	8
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・同和問題を理解し、差別のない社会を共に生きていく意識を育てる。 ・講演会や人権教育、同和教育授業などの学習をとおして、生徒が同和問題について理解を深め、自身の問題として捉える意識を育てる。 ・同和問題に対して自分たちができることを話し合い、同和問題の解決に向けて主体的に取り組むことができるようにする。 				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育、同和教育講演会を実施し、インターネットによる差別事象など今なお存在する差別に対する理解を深めた。 ・公開授業を開催し、生徒が同和問題（1学年「同和問題」、2学年「結婚差別」、3学年「就職差別」）について学び、話し合いを行った。また、授業内容の改善と充実に向けて研究協議会を開催した。 				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・同和問題に対する生徒の理解を深め、問題に対して主体的に取り組む姿勢を育成するように留意した。 ・公開授業を軸とし、事前学習、事後の振り返り学習と、一連の流れの中で同和問題への理解を深められるようにした。 				

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科と
の
関連

- ・ 公民科で、基本的人権について学習した。
- ・ 情報科で、情報モラルについて学習した。

事業成果

【知識的側面】

同和教育公開授業後の調査で、ほぼ全ての生徒が同和問題について理解を深めることができたと回答した。

【価値・態度的側面】

意識変容調査の結果、ほぼ全ての生徒が「人権を尊重しようと思う」と回答しており、自己自身の行為に責任を負う意思や態度が見られるようになった。

【技能的側面】

意識変容調査の結果、約80%の生徒が「同和問題は人権に関わる問題だから自分も含め社会全体で解決に取り組む」と回答しており、問題解決に向けての技能も高まったと考えられる。

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市等名	新潟県	学校名	新潟県立新潟江南高等学校		
人権課題	外国人	対象学年・ 取り扱った教科等	1、2学年・総合的 な探究の時間	時数等	4
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 外国人差別について、重要な人権課題であることを生徒が認識できるようにする。 外国人の人権問題について理解を深め、問題解決に向けて行動しようとする姿勢を育成する。 				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間内で、外国人の人権問題をテーマとして作成したレポートの発表を通じ、その問題解決策をグループ内で検討・共有することにより人権課題についての学びを深めた。 				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> レポート作成にあたり、取り上げたテーマについて多くの情報を集め、その内容を整理・分析してまとめるように指導した。 身近に存在する人権問題であり、問題を自分事として捉え、他者と協働して問題解決に向けて行動しようとする意志の涵養を図った。 				

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科と
の
関連

- ・ 公民科で、基本的人権について学習した。

事業成果

【知識的側面】

外国人差別について理解を深めることができたため、ほぼ全ての生徒が「他人の考えや立場を尊重しようと思う」と意識変容調査で回答した。

【価値・態度的側面】

意識変容調査の結果、ほぼ全ての生徒が「人権を尊重しようと思う」と回答しており、自己自身の行為に責任を負う意思や態度が見られるようになった。

【技能的側面】

意識変容調査では93%以上の生徒が人権についての意識が高まったと回答しており、問題解決に向けての技能も高まったと考えられる。

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市等名	新潟県	学校名	新潟県立新潟江南高等学校
人権課題	インターネットによる 人権侵害	対象学年・ 取り扱った教科等	全学年・特別活動・ 総合的な探究の時間
		時数等	8
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS等のインターネットにおける誹謗中傷などによるいじめ事案が増加している。いじめは重大な人権侵害であり、その解決に向けて生徒が主体的に取り組むようにする。 ・ 人権問題についての学習を通し、他者への理解を深め、他者を尊重するとともに、自己肯定感の向上につなげられるようにする。 		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「新潟県SNS教育プログラム」を活用した授業を行い、情報モラル講演会を開催した。 ・ 人権教育、同和教育講演会で、インターネットによる差別事象などについて学び、理解を深めた。 ・ 1年生入学時にSNS等の取扱いといじめについて保護者の理解を深めるため、周知啓発を行った。 		
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校におけるインターネットを通してのいじめや誹謗中傷事例などを紹介し、重大な人権侵害であることを実感、認識できるようにした。 ・ 他者への思いやり、他者の人権について考える中で、自己の人権についても改めて考え、自己肯定感を向上できるようにした。 		

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科と
の
関連

- ・ 公民科で、基本的人権について学習した。
- ・ 情報科で、情報モラルについて学習した。

事業成果

【知識的側面】

SNS教育プログラム等により知識を深めることができたため、93%以上の生徒が人権についての意識が高まったと意識変容調査で回答した。

【価値・態度的側面】

意識変容調査の結果、ほぼ全ての生徒が「人権を尊重しようと思う」、「他人の考えや立場を尊重しようと思う」と回答しており、自己自身の行為に責任を負う意思や態度が見られるようになった。

【技能的側面】

意識変容調査では93%以上の生徒が人権についての意識が高まったと回答しており、問題解決に向けての技能も高まったと考えられる。

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市等名

新潟県

学校名

新潟県立新潟江南高等学校

人権課題

性的指向、性自認

対象学年・
取り扱った教科等

1、2学年・総合的
な探究の時間

時数等

4

目標・人権教育のねらい

- ・性的指向や性自認を理由にする偏見や差別は、重要な人権問題であることを生徒が認識できるようにする。
- ・性的指向や性自認の問題は身近に存在するものであり、主体的に考えていこうとする姿勢を育成する。

実施した内容

- ・総合的な探究の時間内で、性的指向や性自認をテーマとして作成したレポートの発表を通じ、その問題解決策をグループ内で検討・共有することにより人権課題についての学びを深めた。

工夫した点

- ・レポート作成にあたり、取り上げたテーマについて多くの情報を集め、その内容を整理・分析してまとめるように指導した。
- ・身近に存在する問題であり、問題を自分事として捉え、他者と協働して問題解決に向けて行動しようとする意志の涵養を図った。

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科と
の
関連

- ・ 公民科で、基本的人権について学習した。

事業成果

【知識的側面】

性的指向や性自認について理解を深めることができたため、ほぼ全ての生徒が「他人の考えや立場を尊重しようと思う」と意識変容調査で回答した。

【価値・態度的側面】

意識変容調査の結果、ほぼ全ての生徒が「友達の気持ちを大切にしようと思う」、「人権を尊重しようと思う」と回答しており、自己自身の行為に責任を負う意思や態度が見られるようになった。

【技能的側面】

意識変容調査では93%以上の生徒が人権についての意識が高まったと回答しており、問題解決に向けての技能も高まったと考えられる。